

## 普仙寺だより

第136号 平成18年7月



お盆の精霊棚の一例。  
机に真菰(まこも)を敷き仏壇の中からお位牌を移します。  
香炉・灯明・花立・水向け皿・水の子・茄子の牛・胡瓜の馬。

## 800年前の法然上人

今から800年前のこの月、法然上人の周辺ではどのようなことがあったのでしょうか？

西暦1206年は、建永元年に当たります。この年の2月、奈良興福寺から法然上人の弟子2人の処分が要求されました。以後5月6月と浄土宗に対して処分が要求されました。

蔵人頭の藤原長兼の日記には

8月5日、興福寺の三綱の役の者たちが来て、  
念仏宗(浄土宗のこと)を停止するように宣旨を出して頂きたいと訴えた

と記録されています。

## 嘉禄の法難念仏行脚

去る6月22日、嘉禄の法難念仏行脚を行いました。知恩院の御廟前拝殿にて『選択集』第三章まで

拝読し、午後京都市内を歩行し(途中大雨のためタクシー乗車)太秦西光寺まで行きました。  
参加者は加藤良光と河合正恵の2名でした。



平成18年6月22日 嘉禄の法難念仏行脚  
知恩院仮玄関前にて

### 第三回 法然上人三河二十五霊場参拝

去る6月23日、第3回法然上人三河二十五霊場参拝に行ってきました。  
悟真寺・真如寺・栖了院・大恩寺・光明寺・大善寺の6カ寺を巡拝しました。  
参加者は

加藤 良光、岡田 正八、大木 茂弥、加藤 勝久、谷山 勝昭、神山 盛二、  
杉浦 昭吉、安藤 はるゑ、岡田 さとえ、岡田 里見、岡田 チエコ、  
岡田 命恵、加藤 治子、加藤 瑞枝、加藤 良子、神山 和子、河合 正恵、  
黒柳 花子、小林 みち子、西郷 嘉寿美、西郷 信代、白井 勝子、  
杉浦 幸子、杉浦 志づゑ、杉本 かつ、鈴木 とめ、鈴木 扶身、  
鈴木 好江、谷山 きく、谷山 維子、谷山 八千代、谷山 好江、  
藤田 みち枝、牧野 章子、牧野 喜久子、牧野 せい子、牧野 まつゑ

敬称略・合計37名

[法然上人三河二十五霊場公式サイトはこちら](#)



平成18年6月23日 法然上人三河二十五霊場参拝  
御津町大恩寺本堂前にて

## 第41回 暁天講座

私共はこの世に生を受け、やがて死んで行きます。その間いかに生き、いかに死ぬかが仏教でありましょう。講師の先生方の話を通じて、その事を考えてみたいものです。

主催：豊橋仏教会・豊橋仏教奉賛会

### とき

平成18年7月18日(火)・19日(水)・20日(木)

毎朝6時～7時

### ところ

豊橋市花園町 真宗大谷派 豊橋別院にて

### 7月18日(火) 仏教の生き死に学ぶ…最期を良かったにする智恵

曹洞宗教化研修諸講師 中野東禅(なかのとうぜん)先生

高齢化社会になり、がん死は40万人に近づいています。死の前をいかに上手に生きるか。患者にとって老病死は人生修行の場です。体験と臨床の理論を踏まえて、仏教の視点から、お話をさせていただきます。

### 7月19日(水) 禅とはなにか

愛知学院大学文学部教授 佐藤悦成(さとうえつじょう)先生

達磨大師により禅が独立した宗派として始まり、時代を経て日本へ伝来しました。

そして、道元禅師の禅風が中世以降の日本に定着発展し、日本人の生活に大きな影響をもたらした前途は何かを、お話していただきます。

7月20日(木) 笑いもお布施

元湖西市仏教会長 鈴木正雄(すずきしょうゆう)先生

## 第40回 平成18年度おてつぎ信行奉仕団のおすすめ

おてつぎ信行奉仕団は、浄土宗のふるさと、法然上人の御廟のあります京都総本山知恩院を参拝し、そして身と心での信行一体の奉仕を通じて、お念仏によって生かされている喜びを肌身に感じていただくと共に、同信同行の浄友と手を携えて、家庭や社会の浄化と福祉に寄与しつつ、念仏信仰を更に深め、また同信の輪を広めていくことを目的として行われています。

主催・三河教区豊橋組

### 日時

平成18年10月26日(木)～27日(金)1泊2日

### 集合場所・時間

1. 勢川 6:30 → 吉田方小前 6:35 → Aコープ前 6:40 → 悟真寺前 7:00
2. 源立寺 6:20 → 太蓮寺 6:40 → 悟真寺前 7:00
3. 高林寺 6:10 → 金光寺 6:45 → 悟真寺前 7:00
4. 普仙寺 6:20 → 船町サークルK 6:40 → 悟真寺前 7:00

### 交通機関

貸し切りバス 3～4台

### 会費

1名 23,000円

バス代・本山回向良・保険料・拝観料・記念写真・昼食代等

### 行程

#### 第1日

悟真寺前(7:00)－豊川IC－東名・名神－京都東IC(11:00)－知恩院着 結団式・記念写真・大殿参拝・昼食・別時礼拝・奉仕作業・和順会館・夕食・法話・映画・入浴・就寝(22:00)

#### 第2日

晨朝法要・説教－知恩院(9:00)－坂本・滋賀院門跡(歴代天台座主の住居)(9:00～11:00)－西教寺(天台真盛宗総本山)－坂本北IC・真野IC－琵琶湖

大橋 — びわ湖・鮎家の郷(昼食とショッピング)(12:40～13:50) — 栗東IC・豊川IC — 悟信寺(18:00) — 各地(18:30)

#### 申込

所定の「申込書」に参加費などを添えて所属寺院にお申し込みください。

#### 締切

平成18年9月30日(尚、定員になり次第ご遠慮願うこともあります)

#### その他

- 参加者一人一霊御回向していただけますが、納骨・別回向等を希望される方は申込書に冥加料を添えてお申し出下さい。
- 1日目の昼食は知恩院で接待してさせていただきます。
- 奉仕作業をしますので作業に適した服装を御用意下さい。
- 知恩院から記念品をいただけます。
- 洗面用具、筆記用具、持薬等各自必要なものはご準備下さい。
- 念のため健康保険証(両面コピー)をご持参ください。
- 晨朝法要は相当冷えますので暖かい服装をご用意ください。
- 御集印は御朱印紙にてお願いしております。

## お盆の句

野の家の畳替へしは盆用意

遠藤正年

迎火を女ばかりに焚きにけり

高野素十

かゝる夜の風に燈籠長しかな

富田木歩

## 寺行事案内

### 盆大施餓鬼会(ぼんだいせがきえ)

7月29日(木) 午後1時～午後6時半

時間申し込みをして下さい。

詳細は6月号にあります。

### お盆の棚行(おぼんのたなぎょう)

8月1日より15日まで

日程・時間は葉書にてご通知します。

## お盆の迎え方

8月13日

### 1. 盆棚飾り

小机または膳引き板に真菰(まこも)の筵(むしろ)または蔭(ござ)を敷き、仏壇の中からお先祖のお位牌をお移して安置します。

天井より女竹または苧殻(おがら)を水平に吊るし、五如来の幡(はた※1)や、鬼燈(ほおずき)を掛けます。

お位牌の前には、香炉・灯明・花立て・霊供膳・水向け皿・溝萩(みそはぎ※2)・水の子(みずのこ※3)・茄子の牛・胡瓜の馬・野菜・果物・団子・おはぎ等をお供えます。

※1 幡(はた)

盆大施餓鬼の際にお渡します。

※2 溝萩(みそはぎ)

水向けの為の草花・ミソハギ科の多年草で

淡紅紫色の六弁小花を長い穂状に密生させている。

溝萩がない場合は南天の葉で代用します。

※3 水の子(みずのこ)

茄子のサイの目切りと洗米を混ぜたものを蓮の葉に盛りつけます。

### 2. 提灯飾り

お迎え提灯・家紋提灯

### 3. 迎え火

先にお墓の前でタイマツを焚き、次ぎに自宅門前でタイマツを焚きます。

### 4. お供物

迎え団子・お水をお供えしてお精霊(しょうろう)さまをお迎えます。

8月14日

3度のお膳、菓子・果物・野菜など

8月15日

### 1. 3度のお膳、菓子・果物・野菜など

### 2. 送り火

先に自宅門前でタイマツを焚き、次ぎにお墓の前でタイマツを焚きます。

### 3. お供物



お供物(なまもの)を普仙寺門前の納め所へ納めます。

## 8月16日

### 1. 灯籠流し

牟呂市場町の柳生川の河岸にて、夜7時より。

初盆の方は無料。材料を8月13日に普仙寺で配布します。

初盆以外の方は、材料代500円。本堂に置いておきます。

## 8月25日

### 1. 魂まつり(提灯納め)

豊橋仏教会主催行事。

松葉公園にて午後5時より7時まで。

納め料2,000円以上。